

データ削除処理

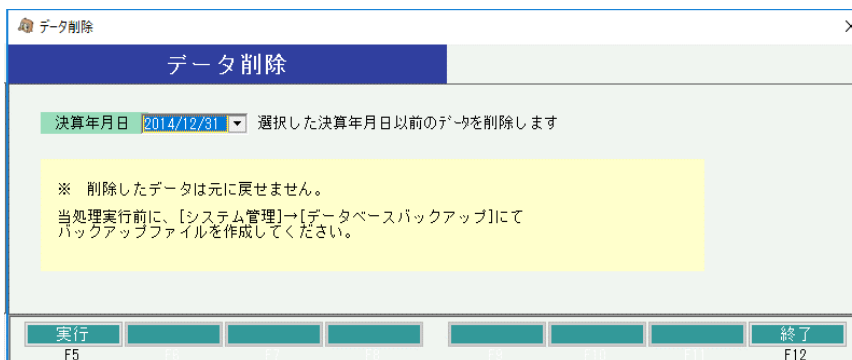
指定した日付以前の伝票データを削除します。

注意

- ・ 削除した伝票はもとに戻すことができません。
削除を実行する前に必ずバックアップを実行してください。
※ ハイブリッド版をご契約の場合は、ふくろう販売管理メニューからバックアップを実行することができません。
アステム(株) 担当SEまでご連絡ください。
- ・ 削除を実行する前に、残高(売掛残高・請求残高・買掛残高・支払残高・未払残高・在庫残高)を各管理帳票より出力し、保存しておいてください。 削除実行後にそのデータと比較し、間違いがないことを確認してください。

1) データ削除手順

- ① システム管理メニューの「データ削除」を起動します。
※ 他のメニューが起動中の場合は、すべて終了させてから起動してください。
- ② 削除する決算年月日を選択します。



Point

選択できる決算年月日は、現在日付から起算して3年より前の日付となります。

- ③ 実行ボタンを押すと、パスワード入力画面が表示されます。
パスワードを入力して、実行ボタンを押すと処理を開始します。



※ パスワードはシステム管理者にご確認ください。

2) 削除する伝票

伝票	削除条件
見積	見積日が、選択した決算年月日以前の伝票。
受注	全明細が出荷済みで、且つ、 受注リレーした売上傳票の最大請求締日が、再設定した請求残高登録の 請求残高日以下に紐づく受注伝票。
売上	請求締日が、請求残高登録の再設定した請求残高日以前の伝票。
入金	入金日が、選択した決算年月日以前の伝票。
発注	全明細が入荷済みで、且つ、 発注リレーした仕入伝票の最大支払締日が、再設定した支払残高登録の 支払残高日以下に紐づく発注伝票。
仕入	支払締日が、支払残高登録の再設定した支払残高日以前の伝票。
支払	支払日が、選択した決算年月日以前の伝票。
入出庫	入出庫日が、選択した決算年月日以前の伝票。
修理	・状況＝予約は、伝票日付が基準日以下の伝票。 ・状況＝修理中、メンテナンス中は削除しない。 ・状況＝修理・メンテ済は、修理期間To日付が基準日以下の伝票。
売上 返却	返却日が基準日以下の、削除対象の売上傳票Noを持つ返却データ
仕入 返却	返却日が基準日以下の、削除対象の仕入伝票Noを持つ返却データ

3) 開始残高

各種残高を新たに設定し直します。

- ・ 売掛/請求、買掛/支払/未払 残高
得意先マスタ、仕入先マスタをもとに、選択した決算年月日直後の締日を算出します。
算出された日付を「残高日」、算出された日付時点の残高を「残高金額」として、
請求先残高登録、支払先残高登録に上書きします。
- ・ 在庫残高
選択した決算年月日時点の在庫を「開始残高」として登録します。
運用設定の「在庫開始日」は選択した決算年月日の上書きされます。

4) 単品商品について

単品登録の在庫登録日が、基準日より前の場合は基準日を新たな在庫登録日として更新します。
基準日以前に、単品の販売や除却、出庫データが存在する場合は、実在庫を調整するため、基準日時点で出庫データが自動作成されます。